ConneCre

お腹にやさしく 坂井一陽,加藤真実

1.概要

- ·「Connect(繋げる)」 + 「Creator(クリエイター)」 = 「ConneCre」
- ・ハッカソンで共同開発を行うメンバーを繋げることが目的。
- ・ハッカソン参加者用のチームメンバー募集・マッチングサービス。
- ・募集、応募機能とジャムマッチング機能、チャット機能を実装。

2.現状の課題

- ・ハッカソンで開発したいものがあっても、役割や人員が不足しておりチームメンバーを募る当てがない。
- ・ハッカソンに参加してみたいが、開発したいものがない。

3.ConneCre を使った課題解決

- ・募集、応募機能とジャムマッチング機能を用いたユーザー間のマッチングを行うことで、ハッカソン参加者のチーム結成を円滑に行う。
- ・各機能はユーザーの役割(フロントエンド、バックエンド、フルスタック)に応じて行う。

3.1 募集、応募機能

- ・既に開発したいものが決まっていて、仲間が欲しい。
- ・開発したいものがない、他の人がどのようなものを開発したいのか確認したい。 募集、応募機能は以上のときに使う機能である。
 - 1. 開発したいものがあるユーザーは、募集機能で仲間を募集する。
 - 2. 他のユーザーがそれを見て、興味があるものに応募する。
 - 3. 募集を投稿したユーザーが応募を承認するとマッチング成立。

1. 開発企画が既にある参加者は、概要と欲しいメンバーと役割を指定して募集を投稿する。

募集作成画面



募集の投稿が完了すると、他のユーザーから募集が確認できるようになる。

募集一覧画面



2. 応募者は、興味のある募集に応募をする。

募集一覧画面で「詳細を見る」ボタンを押すと、モーダルウィンドウで詳細を見ることができる。



「応募する」ボタンを押すと、応募画面に遷移。メッセージを入力し応募を送信する。

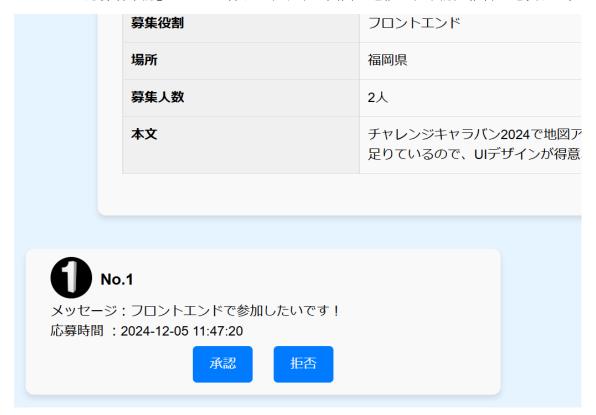


3. 募集者は、自分の募集宛てに来た応募を確認し、承認/拒否を選ぶ。

自身の募集の「詳細を見る」ボタンを押す、もしくは募集確認画面で「詳細を見る」ボタンを押すと、モーダルウィンドウで詳細を見ることができる。



「応募者確認」ボタンを押すと、以下の画面に遷移し、承認/拒否を選択する。



募集者が承認すればマッチング成立。承認された応募者は自動でチャットルームに招待され、メンバーとチャットが可能になる。ここで挨拶や開発の相談など軽いコミュニケーションを取った後、Slack等のワークスペース招待 URL を共有し、そこで開発を進めていく。



3.2 ジャムマッチング機能

- ・チームに分かれてから開発内容を話し合って決めたい。
- ・特に開発したいものがなく、募集を見ても興味を引くものがない。
- ・募集を使ったマッチングがうまく成立しない。

ジャムマッチング機能は以上のときに使う機能である。

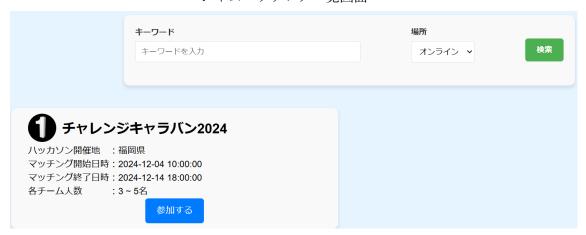
- 1. ハッカソンの主催者等が各項目を設定してジャムマッチングを開催する。
- 2. 参加希望者は自分の役割を決めてジャムマッチングに応募。
- 3. マッチングが開始されると、自動で各役割の参加者が均等に分散するようにチーム分けがされる。
- 4. チーム結成後、参加者は各メンバーの役割を確認し、開発内容を話し合う。
- 1. 主催者がジャムマッチング開催画面で詳細を入力し投稿すると、ジャムマッチングが開催される。

ジャムマッチングの主催者がマッチングを開催する。



この場合、各チームのメンバー数は 3 人以上 5 人以下という条件でマッチングが行われる。

投稿が完了すると、他のユーザーからマッチングの開催が確認できるようになる。 ジャムマッチング一覧画面



2. 参加希望者は「参加する」ボタンを押し、応募フォームにて自身の役割を決めて応募する。



主催者はジャム管理画面で、応募者とその役割を確認できる。



3. 主催者がジャム管理画面で「マッチングを開始する」ボタンを押す、もしくはマッチング終了日時が来ると、システムが参加者の役割を考慮し、各チームにそれぞれの役割がバランス良く配分されるようにチームが結成される。



マッチング終了後、主催者はジャムマッチング確認画面でチーム分けの結果を確認することが出来る。

主催者のジャム管理画面

結果を見る

各チーム人数 :3~5人

「結果を見る」ボタンを押すと、マッチングで結成されたチーム一覧が表示される。

タイトル	チャレンジキャラバン2024		
ハッカソン開催地	福岡県		
マッチング開始日時	2024-12-04 10:00:00		
マッチング終了日時	2024-12-14 18:00:00		
チーム人数	3~5名		
結成チーム			
-Δ1	チーム2		
チームメンバー詳細	チームメンバー詳細		

「チームメンバー詳細」ボタンを押すと、各チームのメンバーと役割を確認できる。



参加者は、マッチング終了後、ジャム管理画面で所属チームを確認できる。

参加者側のジャム管理画面



4. マッチング完了後、参加者はそれぞれのチームのチャットルームに自動で招待される。 その後、Slack などのワークスペース招待 URL を共有し、そこで開発を進めていく。

マッチングが完了したジャムのチャットボタンを押す、

もしくはチャット一覧画面でジャムのチャットボタンを押すとチャット画面に 遷移する。

No.6 2024-12-05 11:28:33 フロントエンドを担当します! よろしくお願いします!		
	No.4 2024-12 パックエンドを担当します!よろしくお願いし	
No.10 2024-12-05 11:31:19 地図アプリ開発に興味があります!		
メンバー メッセージを	送信	

チャットルームのメンバーボタンを押すと、チームメンバーとその役割が分かる。



4.ConneCre の利点

募集機能、応募機能

- ・役割で分けて募集できる。開発内容が既に決まっているときに、足りない役割のメンバー を補うことが出来る。
- ・他のメンバーがどのような開発を行おうとしているのかすぐ確認できる。
- ・うまく役割を定めて募集すれば、開発する内容が既に定まった状態で役割がそろったチームを組むことが出来る。

ジャムマッチング機能

- ・役割を分散させてチームを結成するので、片方の役割がいないということが少なくなる。 (ジャムマッチング参加者の中で極端に片方の役割が少なかったときは例外。)
- ・開発するものはチーム結成が行われてからメンバーと話し合う。初対面の相手と企画立案 から取り組むため、円滑な意思疎通のスキルを磨ける上、新しい人との交流やネットワーク を広げる機会にもなる。
- ・どのメンバーと組み、最終的にどんなものが完成するか分からないため、刺激的な体験が できる。

ConneCre 全体として

- ・役割を軸としたマッチングによる、円滑なチーム結成が可能である。
- ・様々な人と開発を通した関わりの機会が増え、人の輪が広がる。
- ・フロントエンドはバックエンド、バックエンドはフロントエンドの人とチームを組むことが多くなる。そのため、互いに知らない技術を学び合うことが出来る。